

パラグアイ内政・外交報告（12月分）
政治情勢

2020年1月作成

1 内政

（1）フェレイロ・アスンシオン市長の辞任

20日、アスンシオン市において税の二重徴収（recaudacion paralela）が行われており、市長の側近6名が関与しているという告発がなされ、調査要請が承認された直後、フェレイロ・アスンシオン市長は辞任を表明した。同日22時に招集されたアスンシオン市議会の特別議会において、賛成多数で同市長の辞任は承認され、その後、後任の市長の指名において、数名の議員が後任の任命を別の日に行うことを求め議場から退席したが、特別議会の定足数である14票の賛成により、オスカル・ロドリゲス市議会議長が後任の市長として、フェレイロ市長に残されていた2020年12月4日までの任期を務めることとなった。

2 外交

（1）大統領のメルコスール首脳会合出席

5日、アブド・ベニテス大統領は、ブラジル・リオ・グランデ・ド・スル州で開催された第55回メルコスール首脳会合に出席した。同会合において、パラグアイは2020年前期（1月～6月）の議長国（PPTP2020）に就任した。

（2）大統領の亜大統領就任式への出席

10日、アブド・ベニテス大統領は、フェルナンデス亜大統領就任式に出席した。

（3）米司法省及びFBI捜査員のパラグアイ訪問

10日、米司法省と米連邦捜査局（FBI）の捜査員がパラグアイを訪問し、パラグアイ当局とともに汚職に関する捜査を行った。なお、当該捜査員のパラグアイ訪問の前に、米国国務省がゴンサレス・ダエル元上院議員及びディアス・バロン元検事総長への査証を取り消している。

（4）米パラグアイ首脳会談

13日、米国を訪問中のアブド・ベニテス大統領は、トランプ米大統領と会談した。両首脳は、経済的繁栄を推進し、民主主義と法の支配を強化することを強調した。両首脳は、ベネズエラ情勢について意見交換するとともに、アニェス・ボリビア暫定大統領の自由で公正な選挙の実現に向けた努力への支持につき一致した。両首脳は、防衛・治安分野において協力を深化させることで一致するとともに、米財務省技術評価局（OTA）を通じた支援といったパラグアイにおける法の支配の実現を支援する分野について、意見を交わした。また、トランプ大統領は、米国国際開発金融公社（USDFC）が240床を兼ね備えたジェロビア・モンテ・シナイ医療センターに資金供与することを検討して

いる旨発表した。

(5) 尾身外務大臣政務官のパラグアイ訪問

18日から20日にかけて、尾身外務大臣政務官がパラグアイを訪問した。尾身政務官は、リバス外相、アルバレンガ・上院パラグアイ日本友好議連会長とそれぞれ会談したほか、日パラグアイ外交関係樹立100周年記念式典及び在パラグアイ日本大使公邸レセプションに出席した。また、アスンシオン市で日系人・日本企業関係者と意見交換をするとともに、シウダ・デル・エステ市及びイグアス移住地を訪問して、それぞれ日系人と意見交換した。

(6) 在イラク米大使館への攻撃に対する非難

31日、パラグアイ外務省はプレスリリースを発売し、在イラク米国大使館への攻撃に対する非難及び平和の呼びかけに関する声明を発表した。

3 要人往来

(1) 来訪

- 尾身外務大臣政務官（公式訪問）

(2) 往訪

- オビエド環境・持続的開発相，オーストリア・ウィーン（環境及び開発に関する情報収集・施設等視察）
- ペレス司法相（当時），米・ワシントンDC（公務）
- ロペス財相，亜・ブエノスアイレス（国債に関するセミナー参加）
- アブド・ベニテス大統領，リバス外相他，伯・ポルトアレグレ（第55回メルコスール首脳会合出席）
- オビエド環境・持続的開発相，スペイン・マドリッド（COP25出席）
- アブド・ベニテス大統領，リバス外相他，亜・ブエノスアイレス（フェルナンデス新亜大統領就任式）
- アブド・ベニテス大統領，ロペス財相他，米・ワシントンDC（公式訪問）